

## 公益社団法人日本天文学会理事会議事録

日 時：2015年3月18日（水） 19：20～20：30

場 所：大阪大学

出席理事：櫻井、奥村、山田、中村、本原、熊谷、松尾、茂山、青木、宮田、山岡、滝沢、林田（以上13名）

出席監事：郷田（以上1名）

欠席理事：石丸（以上1名）

欠席監事：尾中（以上1名）

開催地幹事：須佐（以上1名）

オブザーバー：政井、谷口（以上2名）

また、西野事務長が出席した。

### I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席者が13名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：櫻井隆

署名人：櫻井隆、奥村幸子、山田亨、郷田直輝

I-2 前回議事録

資料2に基づき、前回（2014年12月7日）の理事会議事録が報告・確認された。

### II. 報告

II-1 入退会報告（資料3、中村）

2014年12月1日より2015年3月2日までの間の会員変動が報告された。仮承認された新入会は正会員67名、準会員15名で、準会員から正会員（学生）への移籍1名、退会者は3名であった。

II-2 開催中の年会に関する報告およびそれ以降の年会の進捗状況報告

1. 大阪大学（林田）

ポスター会場の床の養生代が50万円強かかったため、経費が予定よりも30万ほど増えてしまった。その他は概ね順調に進んでいることが報告された。

2. 甲南大学（須佐）

仮予約した教室の一部を急遽工事することになり、一部の教室を変更した。その他の準備は順調である。

3. 首都大学東京（政井）

日程はまだ完全決定ではないが、3月14日から3月17日に年会を開く予

定である。公開講演会は13日午後、記者発表は日曜日を考えていたが、平日の方が良いなら、14日午前に行くことも検討する。ポスター会場を検討中。休日に公開講演会のホールを使う場合、電気代（暖房費）を払う必要がある。

4. 愛媛大（谷口）

会場として共通教育棟を候補にしている。9月12日と19日の週を仮予約でおさえた。300名近くのホールは2つある。50-60名の教室をポスター会場にする予定。

5. 九州大（山岡）

日程はまだ決めていないが、22-25日、公開講演会26日を検討中。新しいキャンパスで開くので、使用料は高め。市内中心部からやや遠めである。

6. 年会登録状況（宮田）

講演総数は677件。キャンセルが3件であった。非会員講演48件（前回は150件）であった。接続機器のトラブルの報告が少しあるが、概ね順調である。非会員講演について幾つか特殊な場合が起こることがわかったので、次回以降改善する。たとえば、代理講演が非会員の場合、講演を認めない旨、次回から明記する。次の年会から観測機器のセッションの区分けを、現在のV1（地上観測、電波）、V2（地上観測、その他）、W1（飛翔体観測、X線・γ線）、W2（飛翔体観測、その他）からV1（観測機器：電波）、V2（観測機器：光赤外その他）、V3（観測機器：X線・γ線）に変更する予定。

### II-3 事業担当理事の近況

1. 年会（宮田）

先に報告した通り。

2. 月報（青木）

4号から連続で新しい連載（古在さんのインタビュー）が始まる。新連載の反応を見て、継続するか検討する。

3. PASJ（茂山）

OUPからの収支報告があり、終始差益の30%である約430万円が送金される見込み。購読機関数が230から160ほどに減っている。対策をOUPと相談して考える。2015年と2016年の特集号の予定を報告。投稿の手引きの改訂作業をする人員4名を決めた。図表が極端に多い論文に対し、費用を余計に負担してもらうことに対する意見を聴取した。肯定的な意見あり。

4. 庶務（中村）  
2015年度の事業・予算計画を内閣府に提出した。年会開催地の立候補制のアナウンスをしたが、反応はまだない。
5. 会計（熊谷）  
4月下旬に会計監査を受ける予定。研究奨励賞の賞金の残金が2017年度までしかない。寄付金を募る必要がある。近々アナウンスする。
6. 天文教育（山岡）  
今年度、講師紹介6件ほどあった。系外惑星系への命名について記者会見でも質問が多く世間の関心は高そうである。国際光年・日本委員会が立ち上がり、同委員会から天文学会に協力要請書がられた（理事会当時未着）。文科省に「次世代をになう子どもたちに確かな科学的な基礎を」という要望書を提出した。

#### II-4 事務所の近況報告（西野）

庶務理事・会計理事と協力し、2015年度事業案予算案を内閣府に提出した。

### III. 議題

- III-1 新規入会者の承認（資料3、中村）  
全会一致で承認された。
- III-2 日本天文学会林忠四郎賞内規の修正（櫻井）  
代議員総会での意見を反映させ、受賞者を正会員に限るように修正。
- III-3 日本天文学会早川幸男基金内規の修正（櫻井）  
「第3条 正会員であって原則として申請時に35歳以下であり、この基金から援助を受ける費目（交通費、滞在費、参加登録料等）と同じ費目に対して、この基金以外から援助を受けない者を対象とする」を「第3条 正会員であって原則として申請締切時に35歳以下であり、この基金から援助を受ける費目（交通費、滞在費、参加登録料等）と同じ費目に対して、この基金以外から援助を受けない者を対象とする」と修正する案が承認された。35歳以下という資格を明確にするためである。

#### [資料リスト]

- 資料1 理事会出欠表
- 資料2 前回理事会（2013/2/16）議事録
- 資料3 新規入退会・移籍者などの報告
- 資料4 PASJ編集委員会からの報告等
- 資料5 次世代をになう子どもたちに確かな科学的な基礎を
- 資料6 日本天文学会林忠四郎賞内規修正案

資料7 日本天文学会早川幸男基金内規修正案

2015年 3月18日

会 長：櫻井 隆 印

副会長：奥村 幸子 印

副会長：山田 亨 印

監 事：郷田 直輝 印